

当院では、下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお知らせください。

受付番号 【 9-2 】

研究課題名	NST 勉強会参加者アンケートから見えてきた」関心事と今後の課題について
当院の研究責任者 (所属)	氏名 佐伯文子 所属 6 東病棟
本研究の目的 (概要)	<p>新型コロナウイルス感染予防として、今年度予定していた勉強会が相次いで中止となっている。当院の NST 勉強会 (公開講演) もすべて中止となった。これを機に今までの NST 勉強会を見直すことにした。</p> <p>勉強会のテーマ決定は院外の参加者へ向けての比重が高く、年度末の委員会で話し合っている。近年、学会では地域連携についてのシンポジウムや口演が行われており、当院 NST の課題でもあると考え院外参加者に焦点を当てた。年 4 回開催している NST 勉強会過去 3 年分のテーマを「NST 基礎」「摂食・嚥下」「褥瘡」にカテゴリライズし、参加人数の比較とそれぞれのアンケートのコメントを抽出した。それを元に参加者の関心事の確認と今後の NST 活動における課題について考察を行った。</p> <p>アンケート結果より院外からの参加は「褥瘡」が最も多く、次いで「摂食・嚥下」「NST 基礎」の順になった。褥瘡や嚥下障害がある患者さんは自宅退院となるケースはまれであり、ほとんどが後方施設への転院となる。そのため、日々の看護や介護で身近な関心事と考えられる。参加人数が少なかった「NST 基礎」に関しては、アンケートのコメントより栄養の基礎に対する苦手意識と知識不足が読み取れ、より実践的な内容が求められていると思われた。このことから今後はプログラムの内容を工夫し、参加者の増加を図り、地域連携へ寄与したいと考える。</p>
調査データの該当期間	H29 年～R1 年
研究の方法 (使用する情報等)	<p>過去 3 年間の NST 勉強会後のアンケート結果を後ろ向きに調査対象者：院外参加者(院内参加者は除外)</p> <p>H29 年 127 名 H30 年 88 名 R1 年 96 名 合計 311 名</p>
試料/他研究機関への提供及び提供方法	R3 年 2 月 18～19 日 神戸国際会議場・展示場、神戸ポートピアホテル

	第 36 回日本臨床栄養代謝学会学術学会 一般演題（口演）
個人情報の取り扱い	アンケートの回答、提出は任意で無記名のため、匿名性があり個人が特定される可能性はなく、個人の人権の擁護については問題ないと考ええる。
本研究の資金源（利益相反）	利益相反なし
お問い合わせ先	【研究担当者】氏 名 佐伯文子 6 東 佐賀県唐津市和多田 2430 T E L (0955) 72-5111 F A X (0955) 73-9530
備 考	